

新しい出会い 新しい「きずな」

ほうほくかん
抱樸館福岡
第3回きずな祭
2011年11月19日(土)



参加者みんなで第4回きずな祭での再会を約束しました

「抱樸館福岡」は、仕事・住まい・人との絆を失った人々の自立を支援するための施設です。物理的な「ハウス」であると同時に、入居者と地域の人たちとつながる「ホーム」となることを願い2010年5月に開所されました。

今回3回目を迎える「きずな祭」は、抱樸館福岡の入居者、卒業した人、スタッフ、地域住民が集まり、お互いの絆を確かめあう機会となりました。きずな祭のようすを紹介いたします。

※社会福祉法人グリーンコープが運営する第2種社会福祉事業、無料低額宿泊施設



抱樸館福岡館長
青木康二さん

開会挨拶

2010年5月に開所してから今まで、抱樸館福岡の利用者は332人を数えます。今回、多の津5丁目町内会のみなさん、津屋本町公民館・多々良公民館のみなさんなど、たくさんの方にご協力いただきました。今日のカレーのご飯は、多々良公民館館長の光安さんが作られたお米です。その他にも、絵手紙などの展示、日舞などの出しもの、そして福岡女学院看護大学のサークルによる健康相談会と、たくさんの方にご協力いただいています。北九州と下関のホームレス支援機構の仲間も応援に来ています。今日のこの場が、新しい出会いを確認する楽しい場所になってほしいと思います。たくさん食べて、たくさん楽しんでください。



社会福祉法人グリーンコープ副理事長
NPO法人北九州ホームレス支援機構理事長
奥田知志さん

閉会挨拶

抱樸館福岡の構想から5年、いろんな苦労があつて、やっと2010年5月に開所にこぎつきました。一番力になってくださったのはこの地域のみなさんです。ホームレスになる人は、不安定な世の中で自分ひとりの力ではどうにもできず、野宿となつてしまふ心細い中におかれてしまふ。だから社会は「自己責任」だから助けなくていい、だから誰もかわらない、と

なります。そんな中でホームレスになった人には何の手も差し伸べられてきませんでした。

開所の時に地域のみなさんが「抱樸館福岡が入居者のふるさとになるなら、桜の木が必要だ」と贈ってくださった桜が、翌年3輪ほど花を咲かせました。今日私が感じるのは、既存の関係が崩れていると言われている今の社会には、まだまだ新たに人と人のかかわりを作る余地があるということだと思います。新しい出会い、新しい「きずな」、新しい意味でのふるさとをこれからもつくりたいと思います。今の社会をどう変えていくか、抱樸館福岡は挑戦していきたいと思ひます。

第3回きずな祭 3つのテーマ

- ①「きずな」で結ばれている
わたしたちは決してひとりではない、たくさんの仲間がいるということを確認する場にしたい。
- ②出会いの場
人は自分を想ってくれる誰かがいて自分を大事に思えるし、人生にも前向きになれる。入居者、卒業した人、スタッフ、地域の方、一人ひとりの人間が出会い、語り、関係が生まれる、そんな出会いの場にしたい。
- ③主体的に参加できるお祭り
きずな祭は、誰かが一方的に提供するものではなく、ともに悩み、考え、計画してつくりあげていく。対等な立場で意見を言い、議論を重ねる。

社会福祉法人グリーンコープのホームページに「抱樸館福岡」の情報があります。ぜひご覧ください。
<http://www.fukushi-greencoop.or.jp/hbk-fukuoka/>



多々良公民館館長の光安さん(写真左)をはじめとする、たくさんの方の出しものがありました



地域のサークル「おやじーズ」のバンド演奏



建物の外まで、集まった人たちの笑顔があふれていました



駐車場にも屋台が登場

「抱樸館を支える会」賛助会員募集!

抱樸館を支える会とは、ホームレス者自立支援事業や生活困窮者自立支援施設「抱樸館」の事業を支援し支えることを目的に、2010年4月10日に設立した一般社団法人です。

みなさんの会費が財源となります。市民参加型で抱樸館事業の財政基盤を整え、広く地域に支えあう人のつながりをつくっていきます。

申込方法

毎週の共同購入申込書に口数を記入してください。(何口でも、何回でも申し込めます)

- 1299 毎週 「抱樸館を支える会」年会費1口1,000円(一括払い)
- 1300 毎週 「抱樸館を支える会」年会費3,000円(分割払い毎月250円×12回)

※いつでもこの番号で申し込みます。

みんなの真心で抱樸館を支えましょう!!

抱樸館を応援する輪を広げるために、がんばろう抱樸館!「ホームレス エイド コンサートin福岡」が2012年2月14日(火)(18:30開演)、西南学院中学校・高等学校チャペル(福岡市早良区)にて開催されます。詳しくはNPO法人北九州ホームレス支援機構(TEL093-571-1009)にお問い合わせください。



きずな祭でのファイバーリサイクル市



抱樸館福岡の入居者が、就業に向けての「助走」という位置づけでファイバーリサイクルセンター(福岡市東区多の津)で仕分け作業を行っています。開始に

あたっては、JFSA(NPO法人日本ファイバーリサイクル連帯協議会)から、取り組みの意義と仕事内容の説明を受けました。「パキスタンの子どもたちを学校へ」という取り組み趣旨に賛同し、働くことを希望した入居者は協力員となり、交代で作業にあたっていきます。

11月19日の「きずな祭」でのファイバーリサイクル市でも、協力員が意欲的に販売しました。

12月8日には、福岡市内に「ファイバーリサイクルショップ ゆう*あい」がオープンし、そのスタッフがとしても抱樸館福岡の協力員が活躍しています。雇用創出・就労支援に加え、リサイクルの輪がさらに広がっています。